

個展三昧 四人の共演

会 員 広 場

野山の スケッチ展を終えて

東京東支部 土屋政夫

当初計画していた時期から延びること二年。この四月の個展です。

自宅から徒歩圏にある「六町ミュージアム」で気軽なスケッチをご近所の方へ見て頂くとうと開催いたしました。ご無沙汰している遠方の方はご挨拶のつもりで案内状を出しました。



ワタスゲとレンゲツツジ F4

これがきっかけでお電話を頂いたり、ご来場頂き旧交を温めることが出来ましたし、ご近所の方との面識も増えました。

個展を終えて

京都支部 四方公子

通常のコミュニケーション手段はほとんどメールです。マイペースで電話嫌いな私にとつて好都合なツールです。ですが、リアルに顔を付き合わせての会話は何物にも代え難いものがあります。この頃強く思うのですが、何気ない日常の会話こそが自己を保つ心のビタミン剤だと言つことを。

今回一番の成果は、初対面の方も含めて多くの方と楽しくお話が出来てビタミン剤を注入して頂いたことです。これから、美術を通してのコミュニケーションを拡げることが目標に活動していきたいと思つています。

今年も半分過ぎようとしていきます。昔、祖母が歳を取ること一年が早いよ！と言つていた事を実感しながらの毎日です。コロナによりそれが尚の事、家中の生活で体力も急降下です。四月ははじめに画廊の方から声をかけて頂き、私も八〇歳と言う事が頭の中を走り、今だ！とトントン拍子に話が進み、五月

一七日から、京都木屋町と言う鴨川と高瀬川の流れる絶好の場所で開催しました。京都らしい奥に長い建物で人が混み合わない事に、気を付けました。

絵の仲間や旧友、同級生、知人等沢山の方に来て頂き、絵の話もそこそこに、久しぶりの楽しい日々を過ごしました。



展示を終えて ギャラリー京日和にて

カンボジアの思い出を描いた風景が来て下さった方々に尚一層感動を与えられた事が、私としては何よりうれしい事でした。

これも描き続けてきた結果だと、絵の仲間に感謝しています。

絵布 浮世絵展を終えて

千葉支部 片岡美智子

五月中旬に成田なごみギャラリーにて個展を開催。沢山の方にお褒めの言葉やアドバイスを頂き無事終了する事が出来ました。

コロナ禍のせいかわ、作品づくりへの意欲が薄れて来た時期でもあり、とても不安でしたが、こんな時こそ沢山の方に癒しを届けられたらとの思いで開催。その結果、私自身がパワーを頂くことになりました。

会社勤めと作品づくりを両立させ、前向きに進んで行こうと思えます。また今年の新日美展に備えて頑張つて作品作りをしたいと思いません。



個展会場に会話が弾む！